

当会に関わる全ての活動での禁止行為

「事業者団体の活動に関する独占禁止法の指針」（公正取引委員会）

- 1) 一定の取引分野における競争を実質的に制限すること
- 2) 不当な取引制限又は不公正な取引方法に該当する事項を内容とする
国際的協定又は国際的契約をすること
- 3) 一定の事業分野における現在又は将来の事業者の数を制限すること
- 4) 構成事業者の機能又は活動を不当に制限すること
- 5) 事業者に不公正な取引方法に該当する行為をさせるようにすること
- 6) 情報の共有

当会に関わる全ての活動において、以下の情報(含、計画・見通し)を共有すること
(公知のものを除く)

- ①供給製品の一切の価格情報
- ②供給製品のコスト情報
- ③供給製品の将来の生産数量情報
- ④顧客・販売地域情報
- ⑤取引先との取引条件に関する情報
- ⑥将来の製品開発情報及び投資情報

#31(2025年度第4回) CN専門委員会

2026.3.12
(一社)日本自動車車体工業会 事務局

2026年3月12日(月)

内 容			時 間
① 委員長挨拶	富山委員長		10:35-10:40
② 出席者確認			10:40-10:45
③ 2025年度実績	全体		10:45-10:55
	トピックス	CN専門委員会	10:55-11:05
		環境委員会	11:05-11:25
		広報委員会	11:25-11:35
		部会・支部	11:35-11:40
④2026年度以降の進め方			11:40-11:50

② 出席者確認

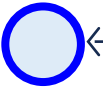
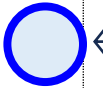
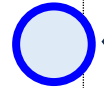
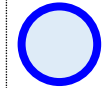
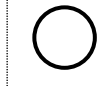
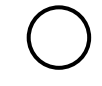
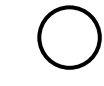
	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	富山 隆	(会長)	日産車体(株)	代表取締役社長	Web
2	副委員長	石川 洋之	(副会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	Web
3	副委員長	矢野 彰一	(副会長、バン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長	Web
4	委員	赤坂 学	特装部会長	カヤバ(株)	上席常務執行役員	欠
5	委員	森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	代表取締役社長	Web
6	委員	近藤 匠	トラック部会長	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長	欠
7	委員	田中 俊和	バン部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	Web
8	委員	能條 幹也	トレーラ部会長	(株)花見台自動車	代表取締役社長	Web
9	委員	藤岡 佳一郎	バス部会長	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長	代理・Web
	代理	代) 龍澤 千遥	—	三菱ふそうバス製造(株)		
10	委員	松尾 勝博	小型部会長	トヨタ車体(株)	代表取締役社長	代理・Web
		代) 杉山 透	—	トヨタ車体(株)		
11	委員	市橋 康男	資材部会長	市岡(株)	代表取締役	Web
12	事務局	小森 啓行		車体工業会	専務理事	会議室
13	事務局	松本 東始		車体工業会	事務局長 兼 総務部長	会議室
14	事務局	森田 敦次		車体工業会	事業統括部長	欠

※25年度第2回より

※

※

計 9名

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CN専門委員会				7/16(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		10/29(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓	12/22(月) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		3/12(木) 10:30 ~12:00 
環境委員会				7/4(金) 			10/21(火) 		12/10(水) 			3/2(月) 
中央技術委員会				7/8(火) 	実施内容報告		10/22(水) 	実施内容報告	12/15(月) 	実施内容報告		3/6(金) 
中央業務委員会				7/9(水) 			10/23(木) 		12/16(火) 			3/5(木) 
広報委員会		5/30(金) 			8/29(金) 			11/28(金) 			2/27(金) 	

実施内容・次年度計画報告

③ 2025年度事業報告

前回決定事項

- 引き続き事業計画に基づき、委員会・部会・支部活動を継続する

2025年度事業報告 全体サマリー

③ 2025年度実績サマリー

カテゴリ	実施事項	担当	KPI	25年度実績	●はトピックス紹介
	・CN理解促進の仕掛け先導 ・各委員会・部会・支部の活動内容確認と情報共有	CN	#1 7/16、#2 10/29 #3 12/22、#4 3/12	・各委員会・部会・支部のCN活動を委員会で確認	○
他団体連携	・自動車5団体 ・経団連モビリティ委員会等	CN	・部工会、自工会情報交換	・部工会：当会との取組み項目比較による過不足分析実施（第2回報告済） ・官公庁情報：GX-ETSの情報収集（第2回報告済）	○ ○
現状把握	・アンケート調査、困りごとへの対応 ・未着手会員への対応	中央業務 広報 部会	・1回/月情報配信 ・情報発信の継続	・HP周知と困りごととの募集を継続 ・会員に役立つCN HPの検討 ・未着手会員への情報展開の継続、CO2排出量提出フォロー（新たにエネルギー使用量提出会員 12社）	● ○
情報収集	・省エネ改善事例の収集、展開 ・改善事例集の作成、展開【事例WG】 ・勉強会の開催	環境 環境 CN	・集約事例のHP掲載 ・事例集1件 ・1件以上	・CO2排出量調査と同時集約した50件のHP公開 ・事例のHP掲載：「儲かる,すぐできる,誰でもできるCN」第2弾作成中及び再生エネルギー活用事例紹介を検討中 ・バン部会会員事例セミナーの開催(2/25) 30社46名参加 ・設備電力可視化セミナー の開催(3/10) ○○社○○名参加 ・未着手会員に向けたセミナー開催を計画中	● ○ ●
計画立案 目標設定	・CO2排出量調査 ・排出量増減分析【分析WG】 ・Scope3	環境	・年間 非量産△1%以上 ・委託生産△2%以上（電力係数の増減以外）	・省エネ目標達成 非量産△3.5%(目標1%)、委託生産△2.7%(目標2%) 回収率72.4% ・LCA、CFPの推進方法の情報収集中	● ○
実行 支援	・困りごととの確認と現地支援 ・部会(支部)との一体活動 ・商用車電動化対応	環境 部会支部 中央技術	・支援4件以上 ・部会、支部巻き込み	・訪問支援6件実施。（部会・支部会員も参画） ・自工会と連携しOEMからの電動化情報収集中（協調領域での共有可能事項は現時点なし）	● △

2025年度事業報告 トピックス

トピックス（各委員会）

CN専門委員会

■ 会員のレベルごとに内容を分けて、セミナー・講演会や事例発表などで情報発信を行う

※3月、4月のセミナー入替え

CNレベル	目的	2026年 開催時期 & 内容					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
未着手 (アンケート未回答)	取組む必要性やメリットに気づき、CNは経営課題と認識し動き出してもらう	会員数(アンケート回答なし) : 29社 特装 : 4社、特種 : 9社、トラック : 13社、バン : 3社		セミナー(内部) ★	☆	☆	取組む必要性だけでなく、CNを進めることが経営にも寄与することを分かってもらう
		招集方法を検討					
初期段階 (動き出したころ)	取組み内容の整理、削減の考え方や方策案を提供し、さらに進めてもらう	常任委員会・理事会	★ 2/25 実施 会員企業の取組み事例発表	★ 3/10 実施 見える化セミナー(外部講師)	★ セミナー(内部)	☆ 他社事例を取込み	☆
取組み中	事例や先進技術を提供するとともに、横展開できる情報を教えてもらう		CN取組み				随時 取組内容を提供
	上記の内 小型部会 CN推進をリードし、これから進める・進めている会員を手助け		トヨタ東日本 梶ヶ谷さん(工場環境分科会長)			講師	
			CN取込み			随時 情報提供と支援を実施していく	

開催状況

2/25 環境取組み発表セミナー … バン部会事例発表会(12/5実施)の録画配信 参加人数 46名 (30社)
(日本フルハーブ(株)、(株)ランテックス、(株)矢野特殊自動車)

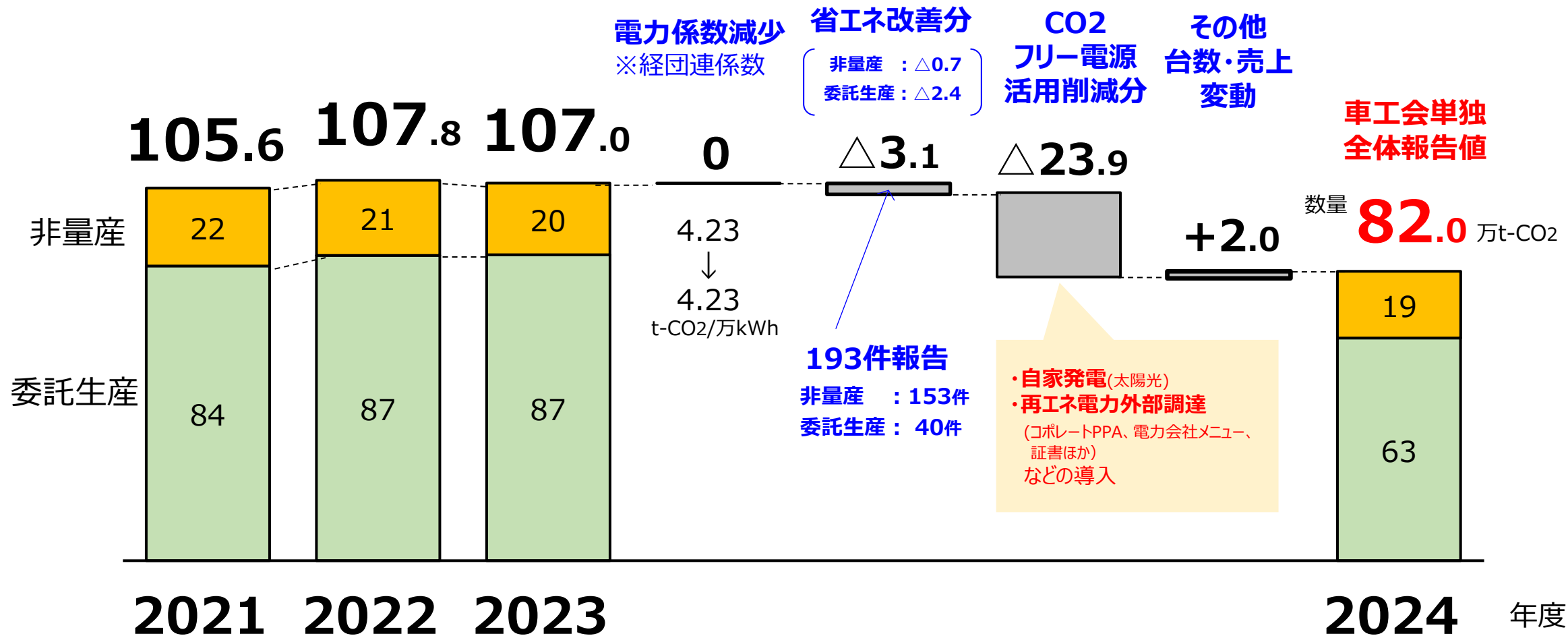
3/10 設備電力可視化セミナー … エネルギー費削減に向けた電気代削減のポイント 参加人数 24名 (15社)
(講師：エプソン販売(株))

環境委員会

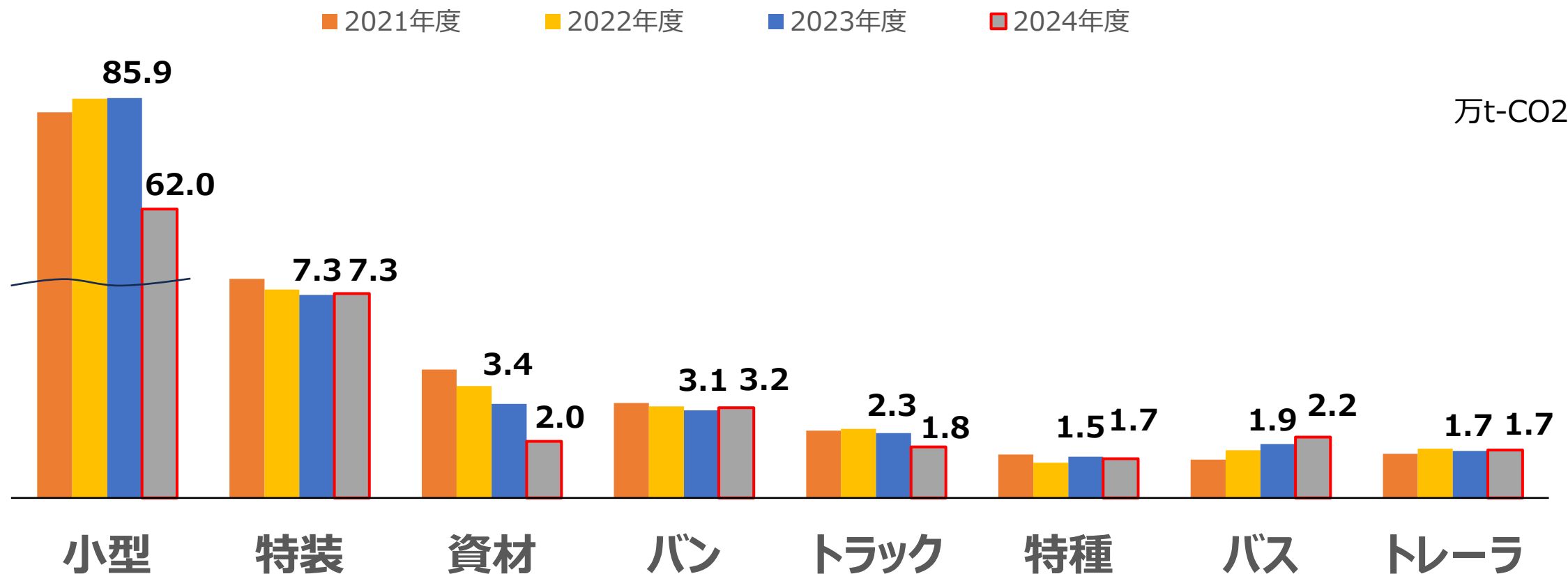
【車工会全体 168社】

正146社、準22社
全体回答率 72.4% (前年 70.1%)

※CO2排出量 = Scope1,2



部会別CO2排出量推移（参考）



CO2排出量調査まとめ

実施項目	実績	評価	課題	次年度活動骨子(案)
全会員の 排出量調査	232社 へ調査依頼を発信し 168社から回答 (72.4%) ※前年は70.1% 省エネ改善のKPIは過達	○	回答しない会社多数(64社) 回答を引き出すアプローチ	未回答企業の底上げ (アレルギーの払拭) ①一段下げた設問の設定 ②地域特性ほか傾向の視える化 ③目標設定の具体化 (実績記入帳票の作成他)
CO2排出量 調査	車工会全体の報告値は 82.0万t-CO2。 ※前年は107.0万t-CO2 大手を中心としたCO2 フリー電源活用削減分が 大きく寄与	○	中小への再エネ活用の導入 促進	再エネ事例の調査と共有 ※アンケート骨子は事例WGで 内容精査中

[会員への情報発信] 会員事例展開

会員への情報発信～HP(会員限定)への事例展開

①省エネ・CO2削減改善事例 (50件)



①照明設備	16件
②空調設備	6件
③熱源設備	3件
④コンプレッサー	3件
⑤監視設備	3件
⑥生産設備	5件
⑦再エネ設備	2件
⑧その他	12件
合計	50件

2025年度(2024年度実績) 省エネ・CO2削減量報告

(掲載対象) ① 製造業 ② 建設業 ③ 運輸業 ④ 卸売業 ⑤ 小売業 ⑥ 飲食業 ⑦ 宿泊業 ⑧ 医療業 ⑨ 教育業 ⑩ 研究開発業 ⑪ その他

① 製造業 (省エネ) ② 建設業 (省エネ) ③ 運輸業 (省エネ) ④ 卸売業 (省エネ) ⑤ 小売業 (省エネ) ⑥ 飲食業 (省エネ) ⑦ 宿泊業 (省エネ) ⑧ 医療業 (省エネ) ⑨ 教育業 (省エネ) ⑩ 研究開発業 (省エネ) ⑪ その他 (省エネ)

① 製造業 (省エネ) ② 建設業 (省エネ) ③ 運輸業 (省エネ) ④ 卸売業 (省エネ) ⑤ 小売業 (省エネ) ⑥ 飲食業 (省エネ) ⑦ 宿泊業 (省エネ) ⑧ 医療業 (省エネ) ⑨ 教育業 (省エネ) ⑩ 研究開発業 (省エネ) ⑪ その他 (省エネ)

① 製造業 (省エネ) ② 建設業 (省エネ) ③ 運輸業 (省エネ) ④ 卸売業 (省エネ) ⑤ 小売業 (省エネ) ⑥ 飲食業 (省エネ) ⑦ 宿泊業 (省エネ) ⑧ 医療業 (省エネ) ⑨ 教育業 (省エネ) ⑩ 研究開発業 (省エネ) ⑪ その他 (省エネ)

各社今後の取組みの参考として
いただくために掲載完了(1/30、2/2)
順次更新中

②意見交換会結果 (順次)



地球温暖化対策の取組み [現地訪問結果]

現地訪問 意見交換会 実施報告

1. 地球温暖化対策の取組み [現地訪問結果]

2. 地球温暖化対策の取組み [現地訪問結果]

3. 地球温暖化対策の取組み [現地訪問結果]

4. 工場内 地球温暖化対策の取組み [現地訪問結果まとめ]

7. 自動車精工での学び、横展事項 (12/17)

【ねらい②】一緒に考え成果出しに貢献...目標設定含め今後の取組み・進め方に悩んでいる中小会員

➢「今後の取組み・進め方に悩んでいる」自動車精工に対して、以下2点を提案し共有

(1)コンプレッサー等、大型設備導入は事前に検討期間をとることが大事であり、東京都の補助金活用も考慮していきましょう (社有車も環境配慮車は補助金が出るので)

(2)断熱対策も昨今は不可欠であり、人の作業する場所のみビニールカーテンで仕切り、寒さ対策では断熱カーテンを窓に設置するなど、身近な改善を進めていきましょう

➢太陽光導入による再エネ採用は進んでおり、導入の背景、効果などを他会員へ展開していく

➢当会として、環境やカーボンニュートラルというキーワードではなく、省エネや経費削減、効率化事例を中心に改善事例を作成し提供していく

➢生産性に直結する改善事例を提供することが喜ばれるとの意見あり、CO2排出量・廃棄物低減につながる生産性向上の事例も適宜提供していく (ex.紙面生産指示書廃止など)

[会員への情報発信] 現地訪問支援

済
済
済
済
済
済

NO	対象会員								2024年度目標設定アンケート			【参考】2023年度アンケート結果	
	所属 部会	訪問日	会社名	訪問の狙い 選定基準	規模	入会	所在地	地域	目標設定		コメント		
									有	無			
1	バン	12/2(火) 13:30～	(株)北村製作所	①	中小	1948	新潟県 新潟市	新潟	◎ 独自		中小企業版SBT認証済み（2023年11月）、CO2フリー電力採用により2029年までの目標に到達【24年度訪問計画中止】	①独自の活動を展開されて 意見交換 → 好事例あれば他会員 展開	
2	バン	11/20(木) 13:00～	北海道車体(株)	②	中小	1949	北海道 北広島市	北海道		○	【24年度からの候補会社】		-
3	特装	12/17(水) 13:30～	自動車精工(株)	②	中小	1961	埼玉県 桶川市	埼玉		○	現状把握のため、スコープ1・2の排出量は算出。太陽光・LED化・インバーター化などはすでに行っているが、次に費用対効果も含め低減できるものがあれば検討したいと考えている。	②活動の行き詰まり、困りごと 共有、目標設定 → 事例紹介と次策、方向性の 共有	
4	資材	1/23(金) 13:30～	(株)オージ	②	中小	-	東京都 北区	東京		○	CNにつきましてこれまで数年にわたり、照明のLED化や空調機器の更新により取り組んでまいりました。しかしながら現在、正直なところ手詰まり感が出てまいりました。他社様の事例等を参考に、新手を検討してまいります。		
5	トレー ラー	2/6(金) 13:30～	トレーラーハウス デベロップメント(株)	②	中小	2021年	栃木県 栃木市	栃木		○	目標設定やCN推進する上で具体的活動方法がわからない 省エネ補助金や税制優遇などの情報を入手することができない	産業廃棄物 に関して	【追加】 ③各部会で1社ずつ会員を 選定し実施 → 上記①・②を横断的に
6	特種	2/20(金) 13:30～	光伸(株)	②	中小	2022	神奈川県 綾瀬市	神奈川	▲ 車工会		ごみの分別・節水・工場内LED化・使用していない部屋や休憩時間には消灯したり活動には取り組んでいます、具体的に目標値は検証中。ただ人手がないのですぐに設定することが難しい。	リサイクルできるごみ	
7	トラック	先方事情で延期		②	中小	2012年	愛知県 みよし市	中部		○	社内設備の老朽化等対策が急務の為、予算を設定しにくい。 社内設備の老朽化対策及び機器更新がどうしても優先となるため、丁度良い助成金等が出たときに都度検討となります	リサイクル業者との廃棄物からリサイクル物への転換の話合い等、消耗品のリサイクル可能材料への転換検討	

25年度アンケート結果を踏まえ、6社(4社+2社を追加)を訪問

①自動車精工④光伸との現地相互研鑽での学び

(梶ヶ谷分科会長訪問)

<ねらい>

・困りごとを一緒に考え成果出しに貢献、好事例を他会員へ展開

①自動車精工 (【特装部会】飼料運搬車、アオリ開閉補助装置「セイコーラック」製造・販売)

- レーザー加工機の助成金申請を東京本社で行った。東京は他県より補助金が多いため活用することで、設備の投資対効果を上げることができる。
(コンプレッサ等、大型設備導入は事前に検討期間をとることが大事)

- 生産性向上のための取組みを積極的に推進。結果的に省エネ、廃棄物低減に繋がることから、生産性に直結する改善事例を提供してもらえるとありがたい。

④光伸 (【特種部会】ドクターカー、災害対策支援車などの赤色灯を搭載した車両の製作)

- 工場長指示で昼休みはブレーカーOFF・残業ゼロを徹底。電力削減と業務効率化を推進。
- コンプレッサ圧力見直しやインバーター化は一緒に気づけた点。今回提案。現状電力量と見直し後の経過を観察して、効果を検証してもらう。



②オージ、③トレーラーハウスデベロップメントとの 現地相互研鑽での学び (岸副分科会長訪問)

<ねらい>

・困りごとを一緒に考え成果出しに貢献、好事例を他会員へ展開

②オージ (【資材部会】(バス用のデジタル行先表示器、ステップライトなど内装部品を開発・販売))

➢ 見える化ボードによる社員との情報共有、効率的な空調循環のため天井エアコンファンの設置

➢ LEDへの切替え、省電力エアコンに切替え等できることはやり、手詰まり感を感じていたが、業務改善・経費削減活動の視点で着手してもらうことを共有。

③トレーラーハウスデベロップメント

(【トレーラ部会】(トレーラーハウス、トレーラハウス専用シャシの設計・製造・販売))

➢ 目標設定について現状の電気使用量、産業廃棄物引取り量など、まずは月別のデータ取り・現状把握をして経費削減の着眼でスタートすることを提案。

➢ コンプレッサーの圧力の見直し、ホース管理、機器本体の工場間の入替を提案。

➢ 木の廃材を使って社員用ロッカーを製作。



今年度の活動(6社現地訪問) 総括と次年度へ反映事項

- **各社 独自の取組みをされており、見習う点、横展できる点多数あり**
- **コンプレッサー(圧力見直し、エア漏れ等)については、各社盲点で提案すると気づきが多い。**
 - ➡ **コンプレッサー事例は改善事例集に複数掲載されており「環境対応事例発表会」等で改めて紹介したい**
- **CNへの取組みに迷っている会員へ①～③の提案で共感が得られる。**
 - ① **目標設定**については、現状の電気使用量、産業廃棄物引取り量等 **月別のデータ取り・現状把握をしておき、データ変化を見るとやることが見えてくる。**
 - ➡ **月別のデータ入力管理ツール等 意識づけ資料の制作・提供を検討したい**
 - ② **環境・CN**というと敷居が高いが、**経費削減・効率化、業務改善の位置づけでスタートする。**
 - ③ **他社改善事例とセットで会話**をすると**自社実情と照らし合わせてイメージしやすい。**
(投資少で効果が得られるものなど洗出し)
 - ➡ **継続した改善事例の集約・提供したい**

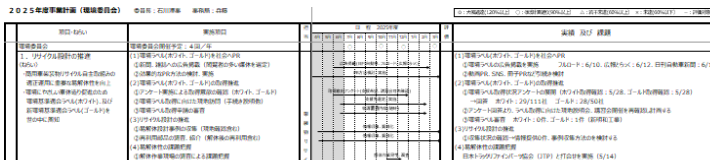
26年度 現地訪問・意見交換の進め方

1. 考え方

2025年度	2026年度
・CNアンケート結果を踏まえて事務局が訪問先を選定し環境委員会主体で活動。 → 活動、広がりが限定的	・環境委員会から特徴(困りごと)ある会員を部会へ提案。部会と共に計画し、取組結果を部会内で共有。(各部会からも2~3社同行)

2. 進め方

環境委員会事業計画

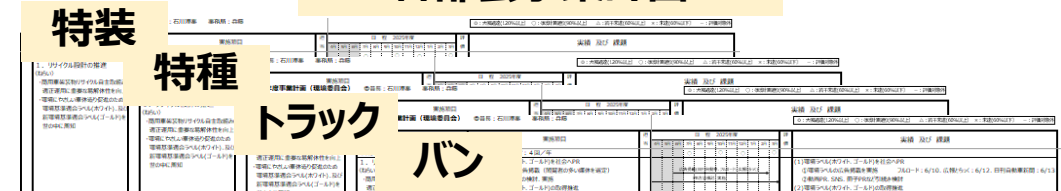


- ◆地球温暖化への取組み
- ②現地訪問による取組み支援（部会連携）

各部会との連携を
共通の活動として
事業計画へ織込み



各部会事業計画



- ◆CN達成に向けた現地訪問活動（環境委員会連携）
- ・困りごとの現地意見交換を通じた他社事例共有と底上げ

<訪問計画(案)>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特装			→									
特種					→							
トラック							→					
バン									→			

ただし、2/25 工場環境分科化の中で**部会別の切口**ではなく、**困りごとをグルーピング化し、困りごと別で会員を募った支援**をしてはどうか？との意見あり
 → **3月中に工場環境分科会で方向性を決定予定**

広報委員会

HP閲覧データ※を活用した CN情報発信強化と検索の向上

※Googleアナリティクス
（Webサイトのアクセス解析ツール）

① CNページの閲覧状況を確認

- 会員会社のCN取組みへの“貢献度”を検証
- CN情報の閲覧アップ施策を検討

② 情報量の多さによる“探しづらさ”を解消

- 検索性能強化

閲覧状況

(確認可能期間)

	2025/4～2026/1 (10ヶ月)	2024/7～2025/3 (9ヶ月)
表示回数	2,480回/年 ⇒ 249 回/月	1,942回/年 ⇒ 215 回/月
ユーザーあたりのビュー	4.7ページ	4ページ
平均エンゲージメント時間	1分35秒	39秒

(Googleアナリティクスデータより)

考察 **データより、順調に閲覧している傾向がうかがえる**
さらなる追加コンテンツのリリースを行うことを推奨

今後 **・アクセス分析を外部委託から、自社実施へ切り替え (担当：事務局)**
・分析結果を委員会で共有・議論し、閲覧数向上策を引き続き検討

② 情報量の多さによる“探しづらさ”を解消

**CN専用ページから必要な情報を素早く検索可能にし、
更なるHPの使いやすくすることで、アクセス増加を狙う**

1) 検索精度の向上

資料の中身も検索対象にする（DBを構築）

2) 生成A I (RAGチャット)検索の導入

複雑な質問に対して要約・整理した情報が効率的に得られる

現在の検討状況

■ 会員ページに"チャット機能"を追加

会員ページ内の（PDF等）をA Iに学習させ、その内容に基づいて
技術的な質問にも自動回答できる機能を追加

※ A I は外部情報にはアクセスせず、当会で用意した資料のみを参照

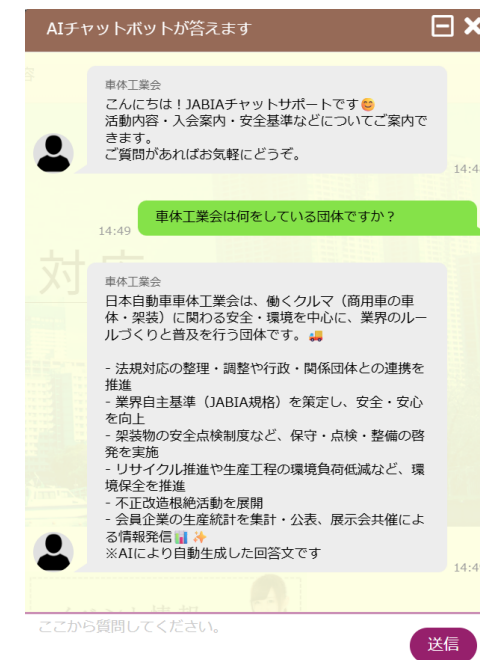
会員ページ内のPDF等

- ・JABIA規格
- ・カーボンニュートラル CO2排出量データ、取組み事例 他
- ・各種申請用紙 他

イメージ



回答を表示



② 情報量の多さによる“探しづらさ”を解消

チャット検索の例（一般ページのサイトをAI学習）

質問	AIによる回答
点検の資料はどこにある？	点検に関する資料は、JABIA公式サイトの「安全への取組み」内にあります 😊 - 架装物の安全点検制度 - トレーラ点検整備実施要領・「トレーラ定期点検整備の手引き（2025年版）」・「トレーラの日常点検」 - 安全に関するニュース（トラック安全ニュース、特装車メンテナンスニュース など） トップページから「安全への取組み」→各項目へお進みください。 📄 ✨ ※AIにより自動生成した回答文です
日本自動車工業会と日本自動車車体工業会との違いは？	申し訳ございません。適切な答えを見つけられませんでした。表現を変えてお問い合わせください。 ※AIにより自動生成した回答文です

覚えさせないことは答えない

- 費用 約2,500千円/年
- スケジュール 2026年 4月以降に導入（相見積り比較）
 - ① A I 学習（会員ページのJABIA規格、ガイドラインなどのpdf資料、サイト情報）
 - ②チャット機能を会員ページへ追加

トピックス（部会・支部）

部会

	活動状況
特装	• CN WG活動 ①WGメンバー2社から取組み事例紹介、質疑応答(8/20) ②困りごとの共有、意見交換とCO₂排出量部会集約状況の共有(10/15)
特種	• 訪問支援活動として部会会員会社を訪問し、相互研鑽を実施(2/20) 次年度も環境委員会と連携した訪問支援活動への参画を計画 • CO₂排出量調査の部会集約結果を共有(46/59社 = 78%昨年69%から増加)
トラック	• 環境委員会と連携した訪問支援活動への参画を計画 • 部会独自調査で困り事としてあがった、CO₂排出量調査記入方法に関する説明会の開催を計画中
バン	• 環境委員会と連携した訪問支援活動への参画を計画 • バン部会で開催した「改善事例、生産性向上事例発表会」の車工会全体でのセミナーを2/25開催 (30社46名参加)

支部

勉強会等開催状況

支部	進捗状況	備考
北海道	北海道車体(株)に 工場環境分科会 訪問し、 支部会員 も含めた勉強会、意見交換会開催	11月20日
東北	CN勉強会 3/13 トヨタ自動車東日本(株)	3月13日
新潟	(株)北村製作所での 現地訪問相互研鑽 （環境委員会主催）に新潟支部も参加	12月2日
関東	CN勉強も兼ねた役員工場見学会 @小松マテーレ 「 冬季省エネ取組み 」都県会展開（環境省展開内容）	9月4日
中部	工場見学会（含 カラクリ勉強会 ）を12/10開催（ トヨタ車体(株) 富士松工場）	12月10日
近畿	製造部会で(株)アルナ矢野特車を工場見学、CNへの取組みを勉強。(18社37名) ジェイ・バス(株) 工場見学で 生産性向上の取組み を学ぶ(15社22名)	7月18日 10月17日
中国	CN勉強会開催日程検討中	
四国	秋季研修会として、 兼松エンジニアリング（株） で工場見学、CN勉強会を開催	11月21日
九州	西鉄車体技術(株) にて工場見学、 CN勉強会 を開催（19社32名）	7月8日